

2019年度 介護福祉士基本研修アンケート (16名)

1 職種

介護職員 14名 相談員 1名 ホームヘルパー 1名

2 所属先

介護老人福祉施設 3名 病院 4名 介護老人保健施設 1名
デイサービス・デイケアサービス 3名 障害者支援施設 2名
訪問介護事業所 1名 サービス付き高齢者住宅 1名

3 「求められる介護福祉士像、自立支援の考え方」の講義

大変参考になった 13名 参考になった 3名

- ・基本的な部分を改めて学べよかった。目標や理想以上に大事な事や必要な事で、今の自分のレベルを把握できるきっかけになった。
- ・介護福祉士にとって、という所を初心にかえることが出来た。
- ・医療が主の病院勤務で、ただの介護者になっているところがあり介護福祉士像を考えさせられ、自分を律して介護のプロにならなくてはと思った。
- ・介護職本位のおしきせの介護にならないように、その方の想いや価値観を知り、その人らしさを理解することが大切だと分かった。介護職として、最後までその人らしく生きる支援を続けたいと思う。
- ・介護の基本を忘れずに、利用者が少しでも喜びを得られるようお世話をしていなくてはと感じた。自分本位の介護から、利用者の立場に立った介護となるよう心掛けていきたい。

4 「介護福祉士に求められる知識と技術」の講義

大変参考になった 13名 参考になった 3名

- ・介護記録の書き方は、ヒヤリハットや申し送り簿記入時大変参考になる。用語、略語、身体各部の名称は学習し、使用してゆく。
- ・記録の大切さがよく分かった。質の高い記録ができるよう一つ一つの記録が正確にわかりやすく書きたい。
- ・基本を思い出す上で勉強になった。
- ・利用者ではなく施設での介護をよく知りませんが、看護へ患者の代弁者となれるよう、介護士の視点、知識、技術向上に努めたい。
- ・利用者の過去を知るという面で、あまりできていないと気づき、一人一人の関わりを深めてゆこうと思った。記録についても、振り返り、また活かしたい。

5 「介護過程の基本的理解」の講義

大変参考になった 12名 参考になった 4名

- ・学んだことのような詳しいアセスメントを行えていないが、根本は一緒だと思うので、原点に戻りていねいにやりたいと思った。
- ・医療病棟で、看護計画が主で介護計画に携わる機会が少ないので、忘れてたり分からないことも去年の研修ではあったが、今回参加して、介護過程の基本を覚えることができた。
- ・一つの情報で片づけないで、多くの情報に目を向け集めていくことの大切さがわかった。
- ・個別援助計画を立てることはないが、情報を収集し支援していくことが、認知症の患者さんを理解し、よりよいケアを行う上で参考になった。

6 「介護過程の展開の実際」の講義・演習

大変参考になった 12名 参考になった 4名

- ・グループワークは、他の方の意見が聞けてよかった。他職場からの意見は、私の見方は偏っているなど感じた。意見を持ち寄って、目標を設定してゆく事で、自分では考えつかなかったプランが出来ていくのは楽しかった。
- ・目標や援助内容は具体的に書くなど参考になった。
- ・アセスメント、計画書の作成で、文章にする（言語化）事が意外に難しかった。
- ・根拠ある介護をしていくうえで大変勉強になった。
- ・支援する側の知識や技術などにより、利用者に対しての支援が良くもなり悪くもなることを再度認識することができ、今後は、利用者になりたい自分になるお手伝いのできたらいいと思った。
- ・個別的に課題や目標を立てるのが難しく考えてしまったせいか、分かりにくかった。思いを言語化するという所が印象的で、頑張ろうと思う。

7 その他 気づき・意見

- ・参加することができ、4日間もと初めは思ったがとても良い学びとなった。
- ・名札があるほうがよかった。
- ・大変勉強になった。
- ・アセスメントについて、もっと学ぶ必要があると思った。
- ・専門的な知識がいつでも発揮できるように、学び続けることは大切と改めて考えさせられた。